

I ♥
yurutto-ga



信仰と思想の民画

ゆるっとが
画

えさし
郷土文化館
企画展

2023年

10月21日(土) → 1月21日(日)

2024年



えさし郷土文化館

Esashi Native District Cultural Museum

〒023-1101 岩手県奥州市江刺岩谷堂字小名丸102-1

電話 0197-31-1600 FAX 0197-31-1601

<https://www.esashi-iwate.gr.jp/bunka/>

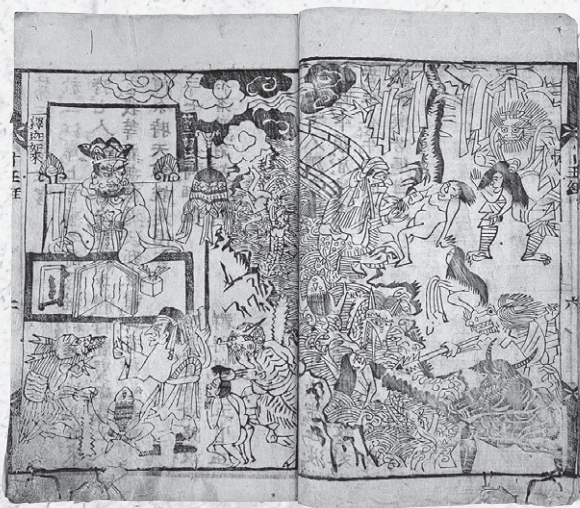


令和5年10月21日(土) — 令和6年1月21日(日)

愉^たしむ^の素朴な民画を



十楽図
肉筆 卷子 江戸時代



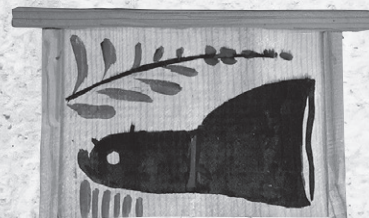
仏説地藏菩薩発心因縁十王経
和綴本 江戸時代 (版木 / 室町時代)



青金剛図
肉筆 掛軸 江戸時代



聖書「福音書」
犢皮紙 肉筆 18世紀 エチオピア



牛図絵馬
肉筆 現代 小絵馬 (千葉東金)



福助図
肉筆 天保14年 (1843)

ゆるっと迎る信仰史

絵画の歴史には荘厳な芸術のほかに、庶民の間で描かれた素朴な「民画」も存在しています。日本ではその代表的なものに寺社の参詣図や縁起絵、小絵馬などの信仰に基づいた民画が多く挙げられ、それらは近世の参詣者や旅行者の土産物として発展したことによって定着しました。また、民間信仰においても地域の「講中(神仏に詣でる仲間)」による行事などで使用する本尊を描くため、庶民が自ら絵筆を執り、独特で自由な筆致で神仏の姿を表わしました。このように人々は職業絵師による技巧的で教条的なハイアートを崇敬する一方で、娯楽的で気軽に楽しめる純朴な民画にも大いに親しみました。本展では国内外の民画を通じ、その深淵にある思想や信仰史を外観します。ゆるやかで独特、画風豊かな民画の魅力をどうぞお楽しみ下さい。

会場◎
えさし郷土文化館 第二展示室

入館料◎
一般 400円 (300円)
高校生 300円 (200円)
小・中学生 200円 (150円)

()内は10人以上の団体料金
未就学児童無料
奥州市民は市民パスポートの提示で入館料半額

開館時間◎ 10月31日まで9:00~17:00
11月1日から9:30~16:00

休館日◎ 1月1日

関連トークイベント
「素朴な民画を愉しむ」

民画の魅力や企画展のみどころについて解説します

日時 12月17日(日) 13:30~15:00

話者 宮本升平氏 (奥州市地域文化研究所)

野坂晃平氏 (えさし郷土文化館)

会場 えさし郷土文化館 研修室

会費 40名(事前申込制)

参加料 入館料金でご参加できます

(市民料金の適用はありません)

申込方法 電話またはwebページの申込フォームから

問合せ先 えさし郷土文化館 0197-31-1600



えさし郷土文化館

Esashi Native District Cultural Museum

岩手県奥州市江刺岩谷堂字小名丸102-1

TEL 0197 (31) 1600

<https://www.esashi-iwate.gr.jp/bunka/>

